OKURA

2020年12月期
第2四半期決算説明資料

大倉工業株式会社

2020年8月26日

代表取締役社長執行役員
神田　進

CONTENTS

01.　・当社の概要
　　　・第六次中期経営計画

02.　・第２四半期連結決算の概要
　　　・各セグメントの業績

03.　　通期の業績予想

経営理念

人ひとりを大切に
地域社会への貢献
お客様を第一に

ビジョン

Next 10
次の10年に向けて「ありたい姿」

要素技術を通じて、新たな価値を創造し、
お客様から選ばれるソリューションパートナー
～ お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、事業を通じて、社会・環境価値を創出する ～

事業	CSR
CSRとの整合性を持った活動	事業を通じて実現
中期経営計画	CSR基本方針
年度事業計画	ESG経営

社訓	大倉工業倫理綱領
日々向上　創意工夫　同心協力	行動の7原則

夢がある。技術がある。未来ができる。

・当社の概要
・第六次中期経営計画

1

01-1 当社の概要

社名	大倉工業株式会社 Okura Industrial Co.,Ltd.
本社所在地	香川県丸亀市中津町1515番地
代表者	代表取締役社長執行役員 神田 進
設立	1947年7月11日
資本金	86億1千9百万円
従業員数	2,047名（連結）、1,076名（単体）
発行済株式数	12,414,870株
株主総数	5,688名
主な事業	〔合成樹脂〕ポリエチレンフィルム製品、ポリプロピレンフィルム製品等 〔新規材料〕光学機能性フィルム製品等 〔建　　材〕パーティクルボード、加工合板等
事業所	本社、東京支店、名古屋支店、大阪支店、九州支店、広島営業所 丸亀第四工場、丸亀第五工場、仲南工場、詫間工場
子会社	連結子会社〔日本：12社、海外：1社〕 ㈱関西オークラ、㈱関東オークラ、㈱九州オークラ、 ㈱埼玉オークラ、㈱オークラプロダクツ、オークラホテル㈱、 ㈱オークラプレカットシステム、オークラ情報システム㈱、㈱オークラハウス、 ㈱ユニオン・グラビア、㈱オークラパック香川、㈱カントウ、 無錫大倉包装材料有限公司 非連結子会社 1社 大倉産業㈱

【2020年6月末現在】

01-2 第六次中期経営計画（2019-2021年）

OKURA

第六次中期経営計画の位置づけ

グループビジョンの実現へ向けた第一ステップ 「新たな成長トレンド」への転換

グループビジョンの実現に向けた第一ステップとして土台を作り、
「新たな成長トレンド」への転換を推進する

Step 02

Step 01

【第六次中期経営計画の基本方針】

既存事業の再構築と成長分野への投資

【全社戦略】　徹底した『マーケットイン』で『稼ぐ力をつける』
《付加価値の増大》

【重点取組み】
1. 先行大型投資案件の早期収穫
2. 既存事業の基盤強化（事業構造改革の完遂）
3. 成長市場・分野への投資と新たな成長エンジンの創出
4. ESG

OKURA

2

・第2四半期連結決算の概要
・各セグメントの業績

連結業績

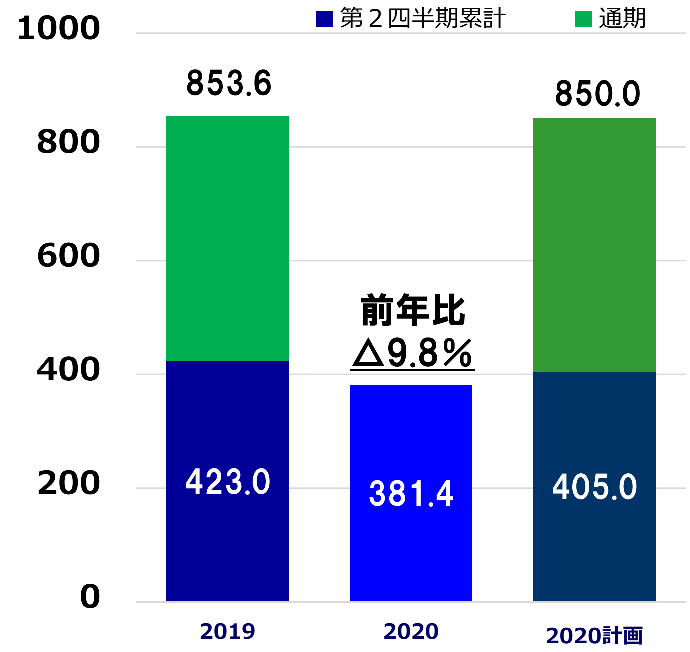
02-1 連結業績概要

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響

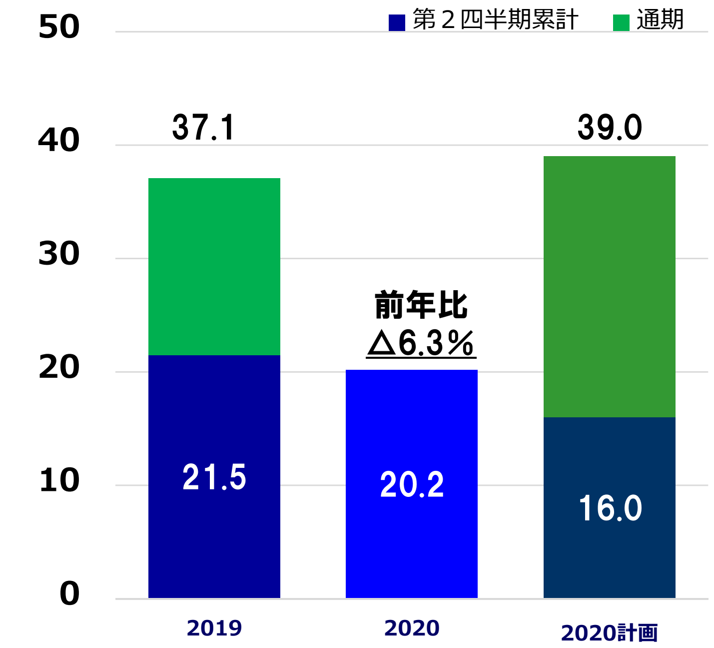
	需要増	需要減
合成樹脂事業	・内食用シュリンクフィルム ・飲料向けシュリンクフィルム ・衛生材料用詰替えパウチ袋 ・バリアシュリンクフィルム	・プロテクト用フィルム ・建装材用フィルム ・自動車部品用フィルム ・業務用BIB
新規材料事業	・タブレット用光学フィルム	・スマホ用光学フィルム ・プロジェクター用偏光板 ・自動車部品用機能性フィルム
建材事業	・輸入基材代替パーティクルボード	・フロア用パーティクルボード
その他関連事業	なし	・ホテル事業（宿泊、宴会）

02-1 連結売上高　連結営業利益

【売上高】



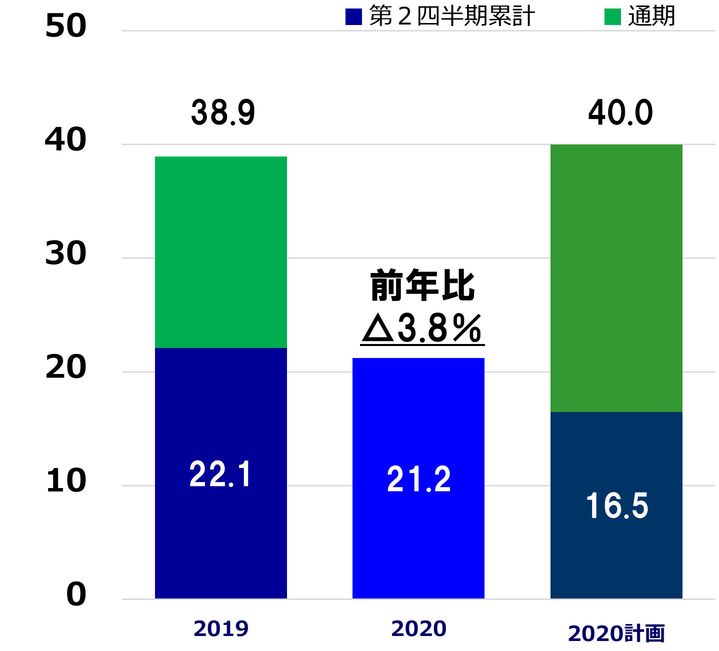
【営業利益】



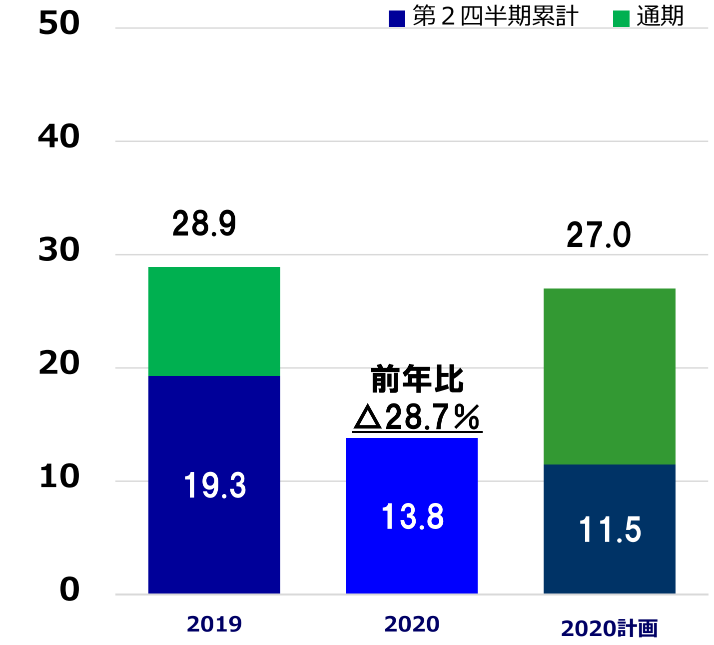
- 新規材料事業やホテル事業を中心にほぼ全ての事業において新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け売上高は減少。
- 合成樹脂事業において、変動コストが低位で推移したものの、売上高の減少により営業利益は前年を下回った。

02-1 連結経常利益と連結親会社株主に帰属する四半期純利益

【経常利益】



【四半期純利益】



02-1 連結損益計算書

（億円）

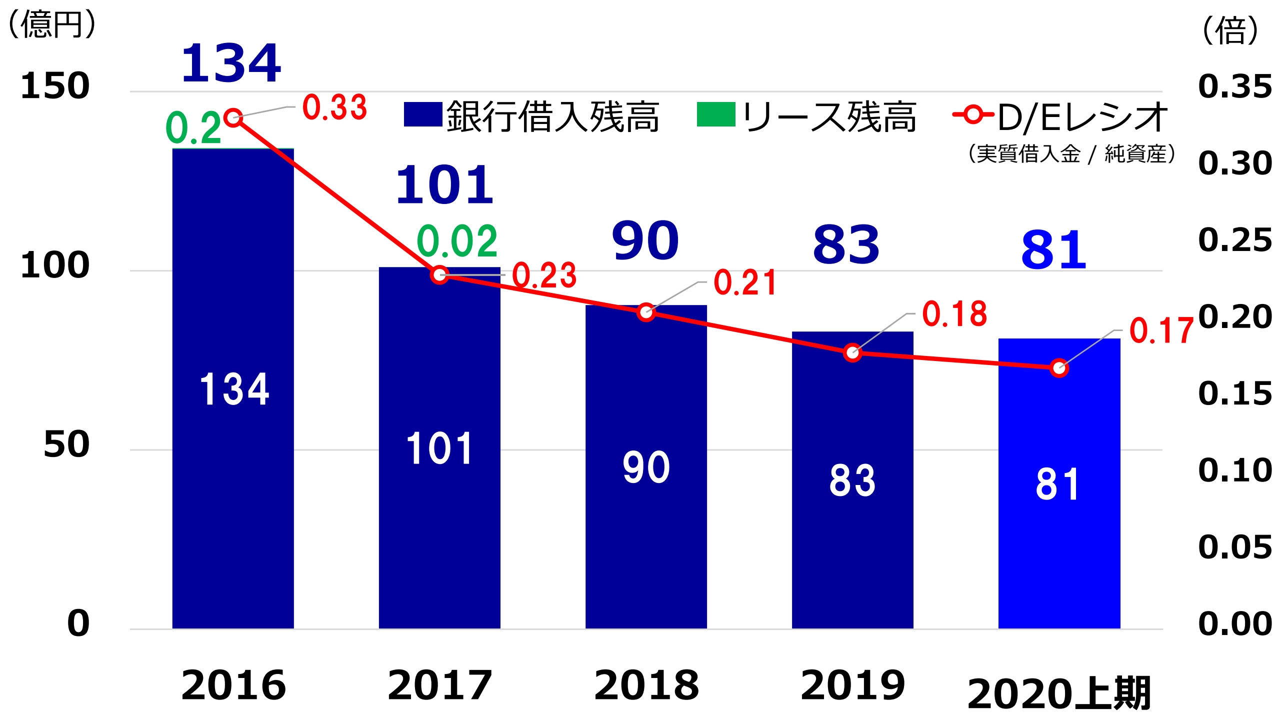
	2019年上期	2020年上期	増減額	主な内訳
売上高	423.0	381.4	△41.6	
営業利益	21.5	20.2	△1.3	
営業外収益	1.4	2.1	+0.6	
営業外費用	0.8	1.0	+0.1	
経常利益	22.1	21.2	△0.8	
特別利益	1.9	0.0	△1.9	(前期) 固定資産売却益1.9
特別損失	0.5	1.6	+1.1	(当期) 投資有価証券評価損0.5 (当期) 臨時休業による損失 0.3
税金等調整前四半期純利益	23.5	19.6	△3.8	
法人税等	4.1	5.7	+1.6	
親会社株主に帰属する四半期純利益	19.3	13.8	△5.5	

02-1 連結貸借対照表

（億円）

	2019期末	2020年第2四半期末	増減額	主な内訳
（資産の部）				
流動資産	425.6	399.7	△25.9	売上債権 △28.1 投資有価証券 △7.8
固定資産	409.2	396.3	△12.8	
資産合計	834.8	796.0	△38.7	
（負債の部）				
流動負債	307.5	265.9	△41.6	仕入債務 △27.9 未払金 △8.2
固定負債	62.8	63.3	+0.5	
負債合計	370.3	329.3	△41.0	
（純資産の部）				
純資産合計	464.4	466.7	+2.3	利益剰余金 +7.2 有価証券評価差額金△5.2
（自己資本比率）	（55.6%）	（58.6%）		

02-1 実質借入金残高



02-1 連結キャッシュ・フロー計算書

（億円）

	2019年	2019年上期	2020年上期
現金及び現金同等物期首残高	74.3	74.3	76.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	71.1	30.2	29.9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55.6	△31.1	△23.7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13.7	△4.1	△7.8
現金及び現金同等物期末残高	76.0	69.1	74.2

営業キャッシュ・フロー

売上債権の減少 +28.1億円
減価償却費 +22.7億円
税金等調整前四半期純利益 +19.6億円
仕入債務の減少 △28.6億円
たな卸資産の増加 △6.6億円

投資キャッシュ・フロー

製造装置等の有形固定資産の取得による資金の減少

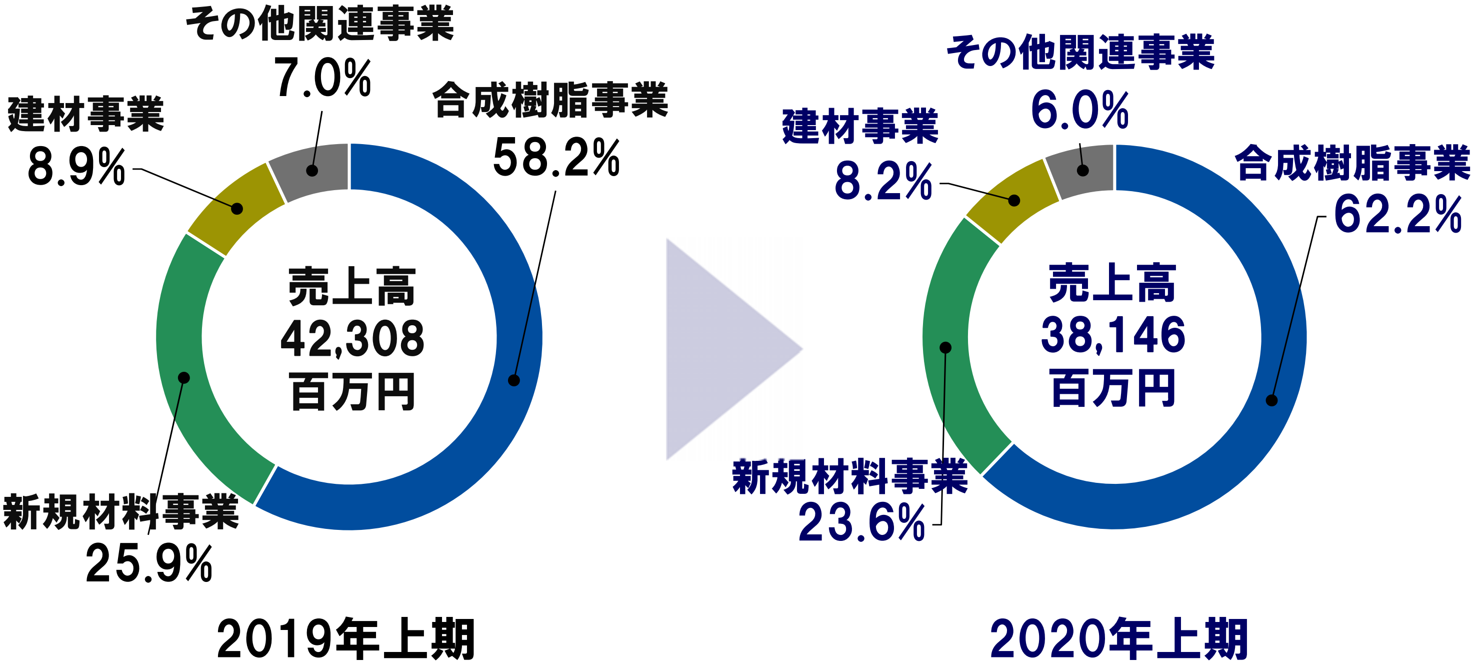
財務キャッシュ・フロー

配当金の支払 △6.5億円
借入金の減少 △1.3億円

各セグメントの業績

OKURA

第2四半期連結売上高構成比



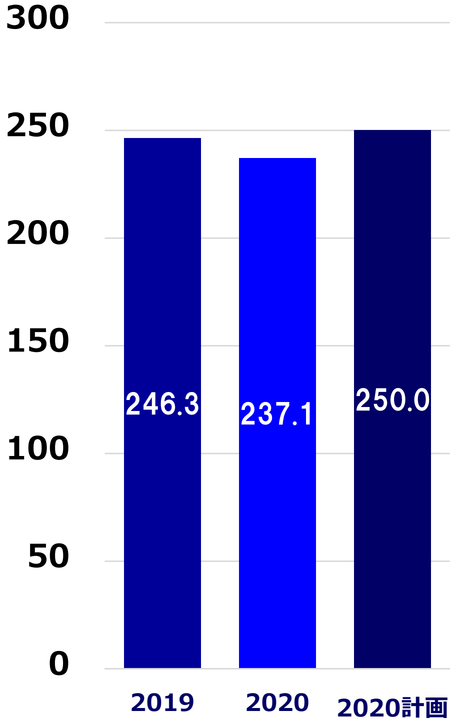
夢がある。技術がある。未来ができる。

合成樹脂事業

02-2 合成樹脂事業

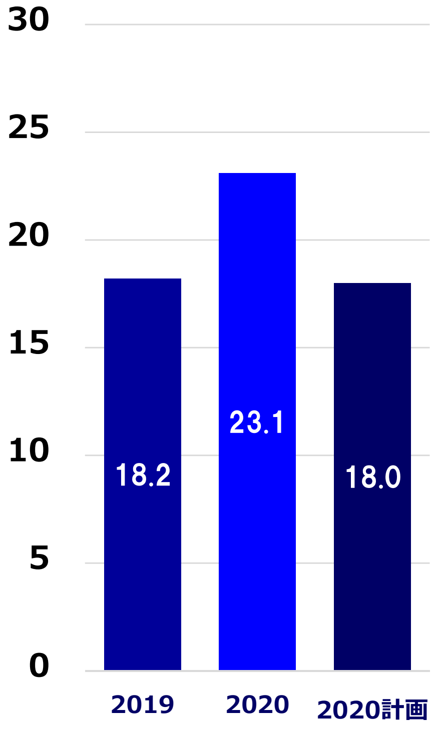
OKURA

（億円）【上期売上高】



前年比 △3.7%

（億円）【上期営業利益】



前年比 +26.5%

- カップ麺や飲料用シュリンクフィルム、詰替え用パウチ袋が増加。
- 消費増税及びコロナ影響により建材用途フィルム等が減少。
- 原料構成により変動費が低位で推移。
- 付加価値の高い製品の販売数量が増加。

02-2 合成樹脂事業

【製品別売上高】 （百万円）

		2020年上期	前年比
パッケージングBU		8,912	△0.7%
	シュリンクフィルム	4,608	+1.1%
	軟包材	3,534	△1.6%
	リキッドパック	769	△6.7%
産業機能材BU		2,765	△6.3%
一般包材BU		9,167	△6.9%
アグリマテリアルBU		2,538	△1.6%
その他		332	+20.6%
合計		23,715	△3.7%

02-2 合成樹脂事業

【上期のトピックス】

詰替え用パウチ袋

衛生材料向けが好調に推移。
売上高 対前年＋30.8%

食品向けシュリンクフィルム

カップ麺や乳酸飲料向けが好調に推移。
売上高 対前年＋6.4%

エコラップ®G、エコラップ®BSS－V2

食品ロス削減の需要拡大により
売上高 対前年＋14.7%

新型コロナウイルス対策品

医療用プラスチックガウン

医療従事者が着用する医療ガウン不足への
対応として40万枚を厚生労働省に納品。
使い捨て式で医療従事者の感染リスクを低減。
現在、受注生産で販売中。

医療用プラスチックガウン

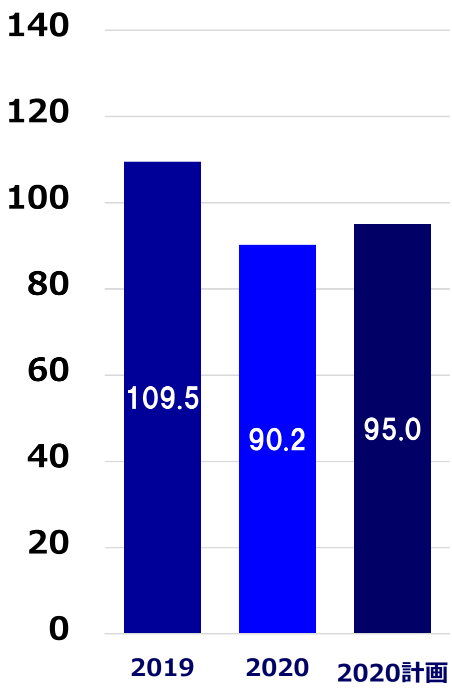
エコラップバリアフィルム

新規材料事業

02-2 新規材料事業

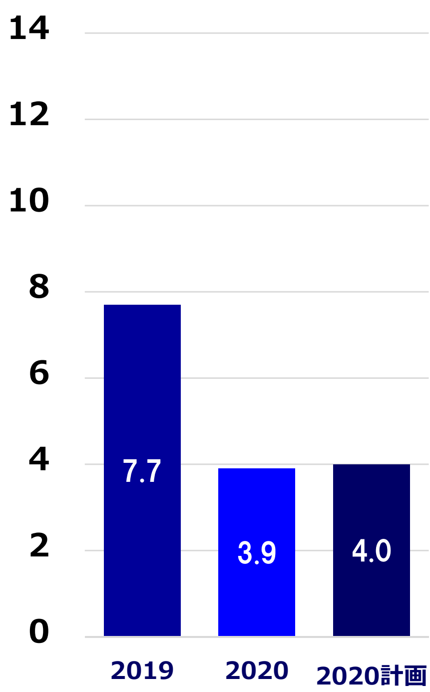
OKURA

（億円） 【上期売上高】



前年比 △17.7%

（億円） 【上期営業利益】



前年比 △49.3%

- **機能性フィルム**
  コロナ影響により、自動車用途フィルム、プリンター部材が減少。
- **光学フィルム**
  コロナ影響により、タブレット用途等一部の製品は堅調に推移するも、スマホ、プロジェクター用途が大きく減少。

02-2 新規材料事業

【BU別売上高】

（百万円）

	2020年上期	前年比
第１BU（機能材料）	1,170	△14.1%
第２BU（光学材料－加工）	3,905	△5.6%
第3BU（電子材料－製膜延伸）	2,613	△2.0%
商品他	1,331	△52.3%
合計	9,020	△17.7%

【上期のトピックス】

コーティング（精密塗工）

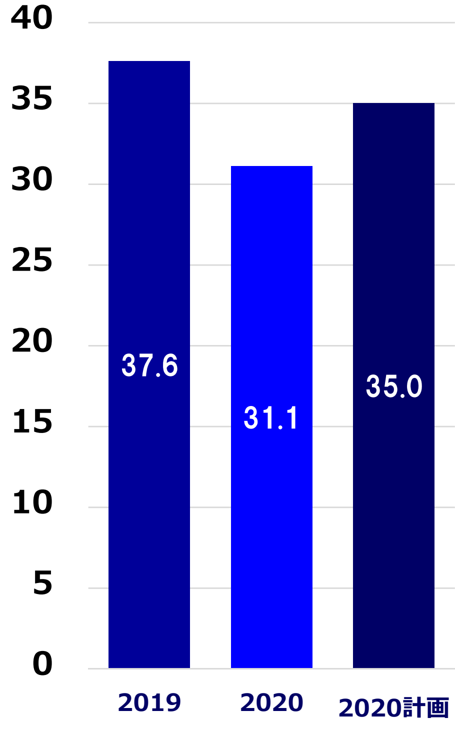
車載向けやスマホ向けLCD、OLED用部材へのコーティング加工。
コロナ影響により、顧客評価が遅延。

乾燥炉

巻取機

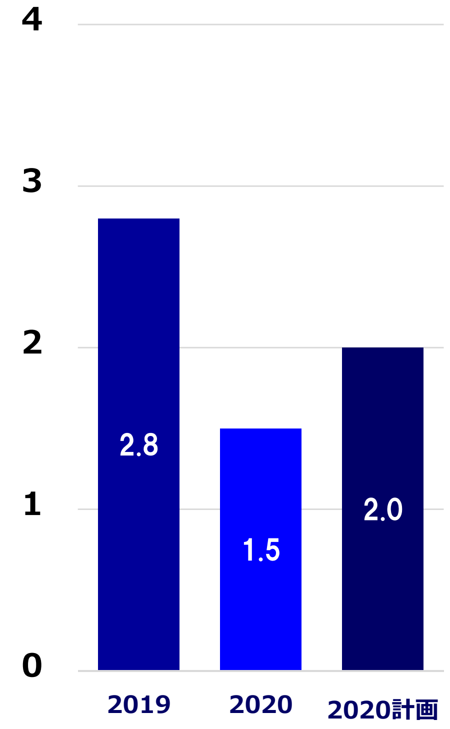
02-2 建材事業

（億円）【上期売上高】



前年比 △17.4%

（億円）【上期営業利益】



前年比 △44.2%

- **一般製品向けパーティクルボード**
  サプライチェーンの寸断により、輸入基材の代替品が増加。
- **フロア関連向けパーティクルボード**
  消費増税及びコロナ影響により、販売数量が大きく減少。
- **南洋材合板化粧板等**
  前年6月に規格品の販売を、本年上期に一部の建築資材商品の販売を終了したことにより、売上高が減少。

OKURA

【製品別売上高】　　（百万円）

	2020年上期	前年比
パーティクルボード素板	1,538	+12.2%
パーティクルボードフロア	905	△30.7%
住環境（建装材、商品を含む）	667	△38.7%
（内、パーティクルボード基材加工品）	（477）	（+6.8%）
合計	3,110	△17.4%

OKURA

【上期のトピックス】

省施工パネル　販売開始

省施工構造断熱パネルの製造・販売をオークラプレカットシステム、オークラハウスと協同で開始

大工の減少、高齢化問題に対し省力化・省人化・工期短縮をメリットに市場へ投入

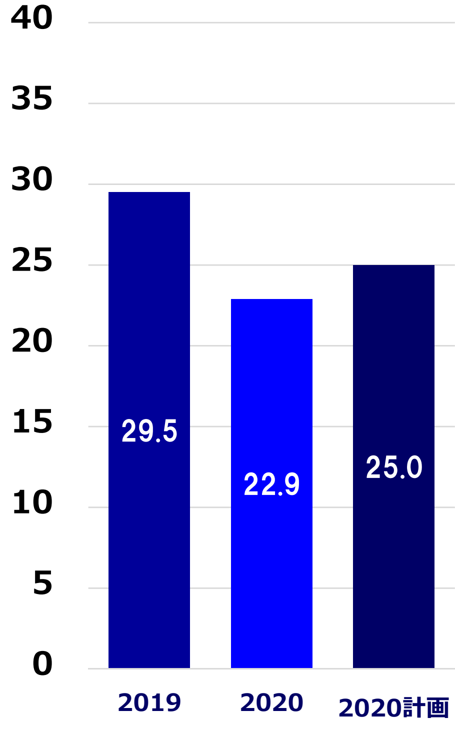
2020年上期販売実績19棟

省施工パネル設置工事現場

02-2 その他関連事業

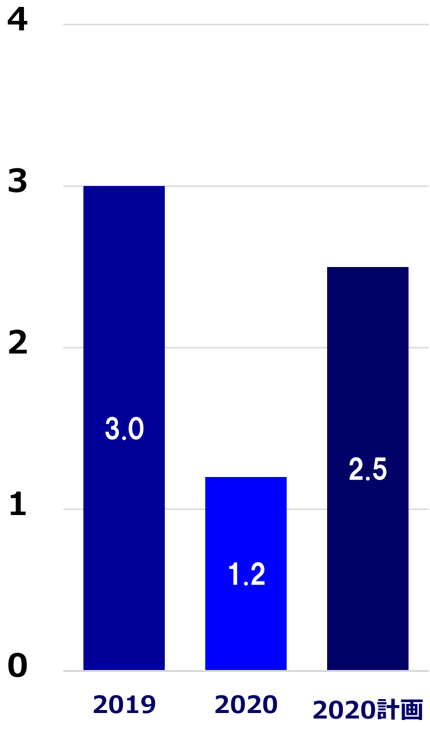
OKURA

（億円）【上期売上高】



前年比 △22.2%

（億円）【上期営業利益】



前年比 △59.9%

ホテル事業
コロナ影響により、宿泊や宴会が落ち込み、売上高が大幅に減少。

住宅・プレカット事業
コロナ影響により、住宅着工戸数が減少。

情報処理事業
調剤薬局向け調剤鑑査システムの販売が堅調。

【事業別売上高】

（百万円）

	2020年上期	前年比
ホテル事業	232	△66.8%
情報処理事業	585	+6.4%
住宅事業	414	△11.4%
プレカット事業	1,257	△11.4%
賃貸事業	372	△4.5%
消去・組替	△563	－
合計	2,299	△22.2%

【上期のトピックス】

オークラプレカットシステム 新構造材製造ライン 生産開始

高機能省施工パネルや非住宅木造物件（2020年上期実績48棟）にも対応

3

通期の業績予想

03-1　2020年業績予想

下期　市場、市況の想定

- **新型コロナウイルス（COVID-19）の影響**
  ①家庭内加工食品や衛生材料は第3四半期以降も堅調に推移。
  ②自動車関連、電器製品
  第3四半期より緩やかに回復、第4四半期にはコロナ前の7割水準に。
  ③スマホ・テレビ向け電子材料
  スマホは第4四半期まではコロナ前予測の3割減、
  テレビはコロナ前予測の1割減で推移。
  ④住宅・建材
  第4四半期までは3割減、回復は早くても第4四半期後半から。

- **原油・ナフサ　徐々に上昇**
  国産ナフサ価格
  2020年2Q：25,000円/KL、3Q：32,000円/KL、4Q：35,000円/KL

新型コロナウイルス感染症の予防対策を継続し、安定供給に努めます。

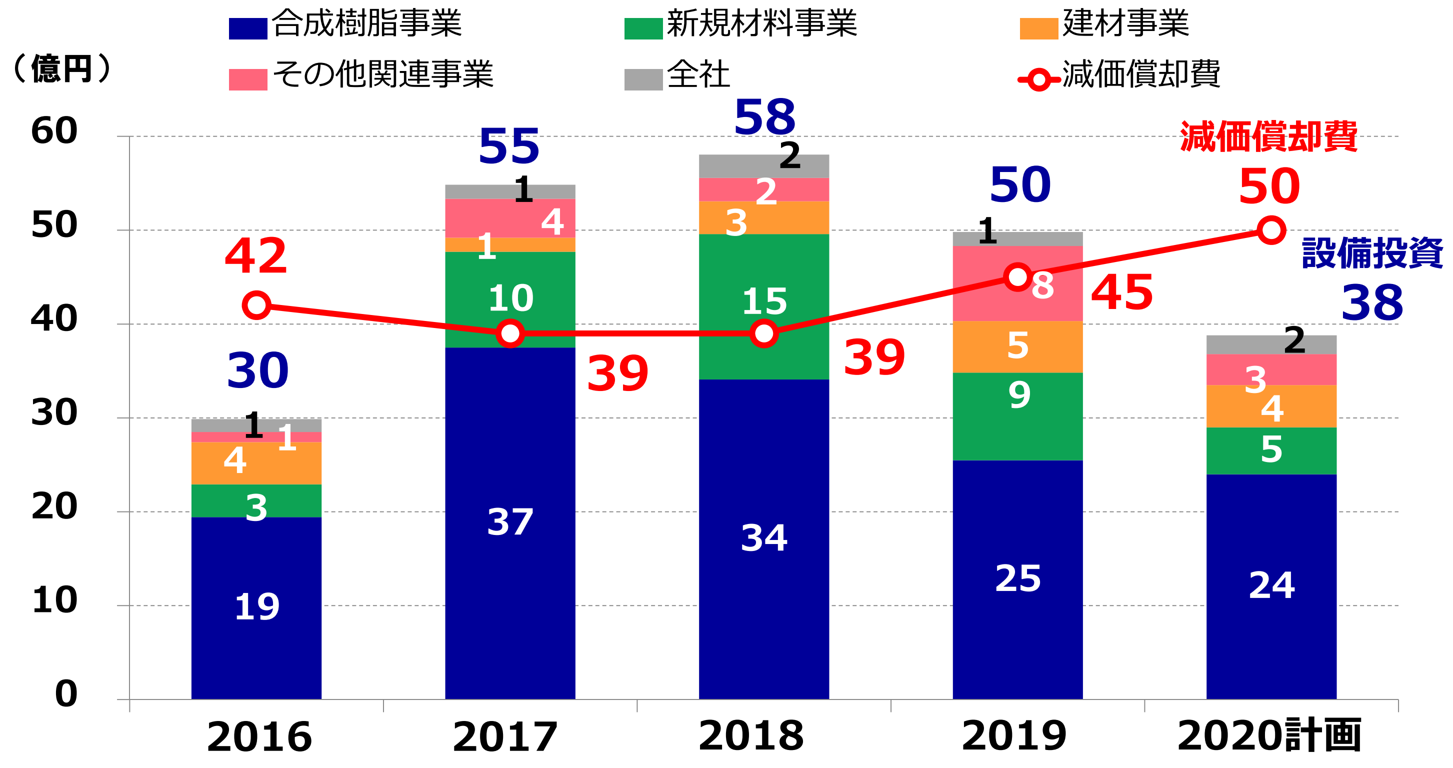
03-1 2020年業績予想

（億円）

	2019年 通期実績	2020年 上期実績	2020年 通期予想	前年比
売上高	853.6	381.4	850.0	△0.4%
営業利益	37.1	20.2	39.0	+4.9%
経常利益	38.9	21.2	40.0	+2.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	28.9	13.8	27.0	△6.9%
設備投資	50.5	18.7	38.0	△24.8%
減価償却費	45.2	22.7	50.0	+10.5%
償却前経常利益	84.2	44.0	90.0	+6.9%

2020年2月14日に公表いたしました予想数値を据え置いておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大によっては、業績が著しく悪化するリスクがあります。連結業績予想を修正する必要が発生した場合には速やかに開示いたします。

03-1 設備投資（工事ベース）及び減価償却費



➢ 設備投資は今期計画分のうち、約10億円が来期以降へ

セグメント別

03-2 2020年業績予想 セグメント別

OKURA

（億円）

	売上高		営業利益	
	2019年実績	2020年予想	2019年実績	2020年予想
合成樹脂事業	493	510	36.4	37.5
新規材料事業	229	215	11.1	13.0
建材事業	74	70	4.6	4.5
その他関連事業	57	55	5.3	5.0
全社	－	－	△20.3	△21.0
連結合計	853	850	37.1	39.0

03-2 2020年業績予想 セグメント別

（億円）

	設備投資		減価償却費	
	2019年 実績	2020年 予想	2019年 実績	2020年 予想
合成樹脂事業	25.7	24.0	27.4	28.5
新規材料事業	9.3	5.0	9.9	12.0
建材事業	5.7	4.0	3.4	3.5
その他関連事業	8.0	2.0	2.9	3.5
全社	1.6	3.0	1.4	2.5
連結合計	50.5	38.0	45.2	50.0

補 足

03-3 合成樹脂事業 下期の取組み

環境対応型製品の拡大　バイオマスシュリンクフィルムシリーズ

バイオマスプラスチックの特徴

● CO_2増加抑制に繋がる。(石油由来プラスチックに比べて)

地上にある炭素が「植物など」→「プラスチック」→「CO_2」→「植物など」の流れで循環される。
※「カーボンニュートラル」と呼ばれている。

● 化石資源を節約できる。

石油などの限りある化石資源の節約につながる。　※サステナビリティ(持続可能性)があると言われる。

①PO系多層シュリンク「ラプラー®バイオ」
植物など再生可能な生物由来の有機資源原料を25%以上使用
優れた包装適性やヒートシール性及び収縮応力を併せ持つ

②LDPEシュリンク「パワーシュリンクバイオ」

③HDPEシュリンク「CSシュリンクバイオ」
2020年下期から2021年の販売目標1.5億円

(参考)シュリンクフィルムの市場　年間約45,000t
当社シェア　PEシュリンク　35%
PPシュリンク　32%

農業用フィルム新製品

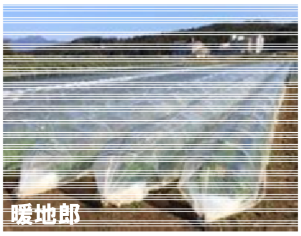
農業用生分解性マルチフィルム 「エコローム®こかげ」

マルチフィルムを微生物が分解するため、
収穫後のフィルム回収が不要。
乳白色層で赤外線を反射し、地温上昇を抑制。

エコローム®こかげ

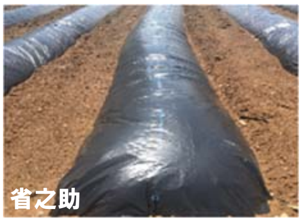
トンネル用フィルム「暖地郎」

保湿性・流滴性を有した機能性フィルムで、
結露防止効果とトンネル内保湿効果を発揮。


暖地郎

環境負荷低減型マルチ「省之助」

通常マルチを薄膜化し、厚みを40%カット。
1,000mの長尺巻きを実現


省之助

3製品合計の2020年下期から2021年の販売目標2.2億円

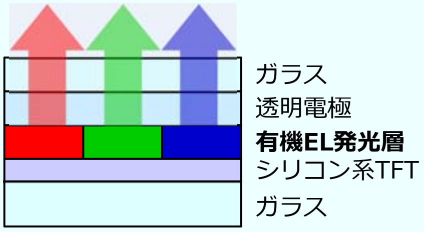
(参考)レタスの全国作付け面積:20,439ヘクタール
年間フィルム需要量:約3,700t　当社シェア24%

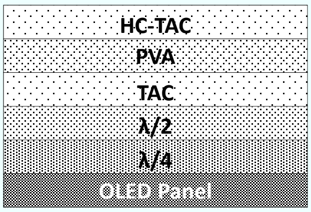
03-3 新規材料事業 下期の取組み

光学フィルム溶融押出機（開発用）

光学フィルム製品の開発用として導入。総投資額8億円。
2020年7月より、OLED用部材の試作開発に着手。
2021年の上市を目指す。

有機ELディスプレイの構造





03-3 R＆Dセンター

R&Dセンターのミッション

- 環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信と、3つの領域を横断するモビリティ領域を注力分野とし、新規事業・製品に繋がるテーマを開発する
- 現有の要素技術の深化と新しい要素技術を獲得する
- 既存事業およびその周辺での製品を開発する

環境・エネルギー

環境・エネルギー負荷を軽減し持続可能な社会実現に貢献する事業

ライフサイエンス

人々の安心で豊かな生活を支える事業

情報通信

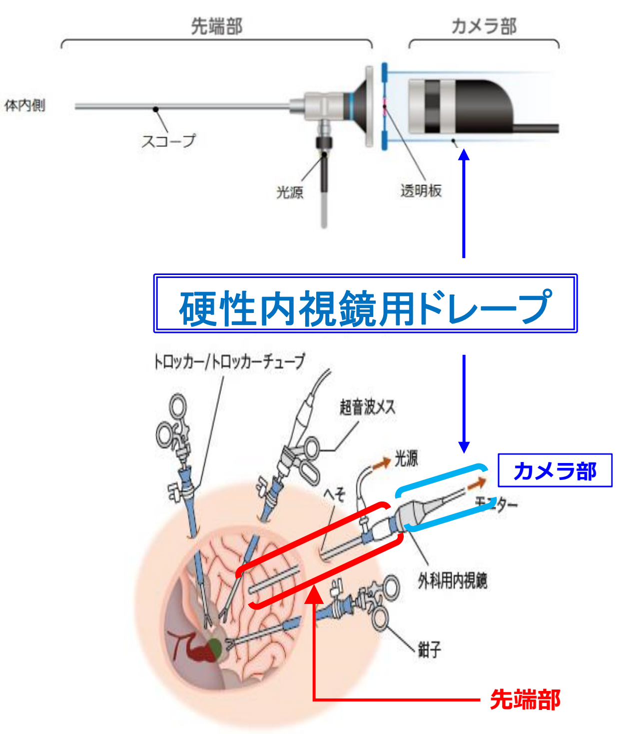
エレクトロニクス分野の発展に貢献し、安全で快適な暮らしを支える事業

注力領域　「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」「情報通信」と、3つの領域を横断する「モビリティ領域」

硬性内視鏡用ドレープの試作販売を開始

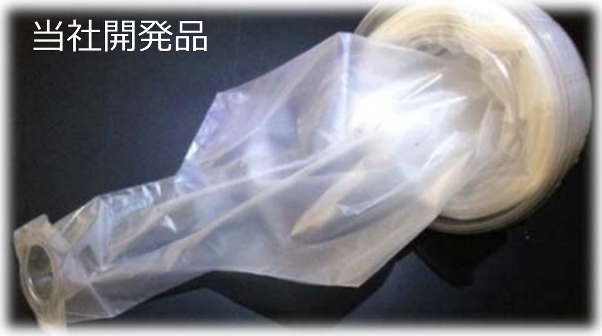
◆硬性内視鏡用ドレープとは

低侵襲医療として拡大している
腹腔鏡手術時に使用する内視鏡
カメラを覆い汚染を防止する
カバーユニット



◆特徴

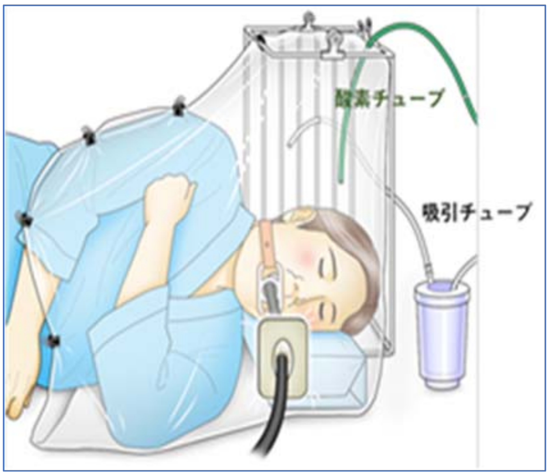
先端形状やフィルム折り畳み構造
によりカメラへの装着が容易
カメラの滅菌回数を削減可能



消化器内視鏡用新型コロナウイルス感染防御システム

香川大学と協働にて製品開発を開始

開発前モデル案と量産化コンセプト



今回考案した製品の主な特徴

- 被覆フィルム空間内の陰圧化による室内への飛沫拡散の最小限化
- 飛沫が付着する部材の使い捨て（ディスポーザブル化）による消毒作業等の省力化

OKURA

新型コロナウイルス対策品

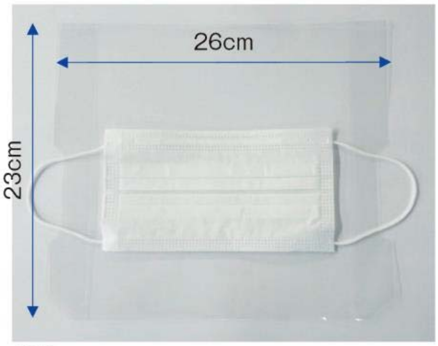
市販とネットでの販売を開始

マスク取付け型

簡易フェイスシールド

100枚入り

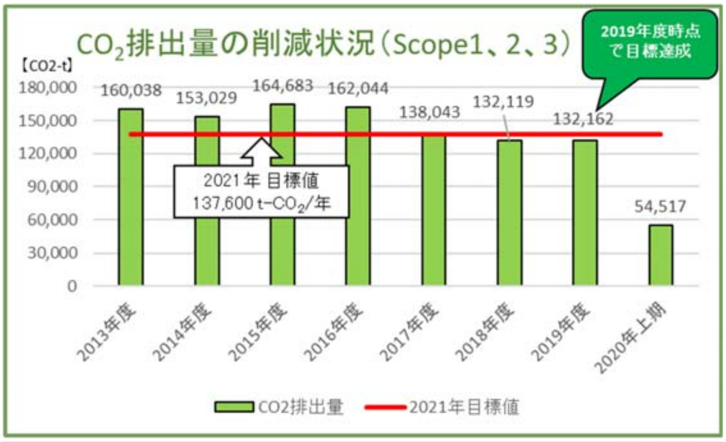
1	顔全面カバー	アイシールドタイプと比較し、口元周辺までカバーできます。
2	安心で衛生的	使い捨てのフェイスシールドです。 シールドに触らずマスクごと外して廃棄することもできます。
3	シンプルで軽量	マスクの紐を通すだけで簡単に装着できます。 頭部のバンドやメガネで装着する必要がありません。 フィルムのみでできているので使用後のごみもかさばりません。



材質：PP
厚さ：0.06mm

OKURA

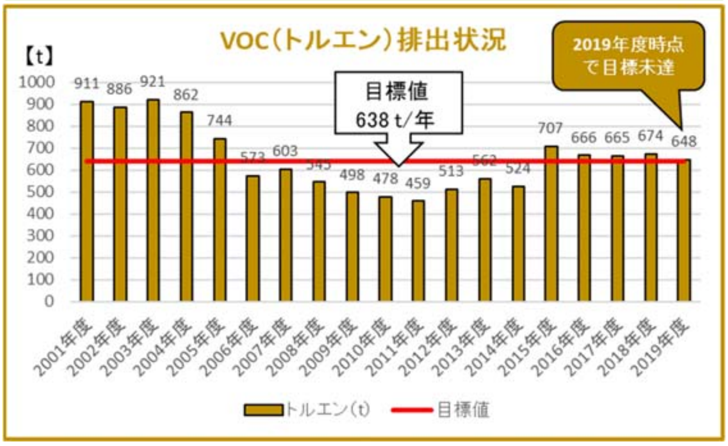
環境課題への取組み



◆ CO_2排出量削減目標：
2029年：2013年比25%削減
2021年：2013年比14%削減

→2019年度は17.4%の削減となり目標達成。
空調インバータ制御、LED化等、省エネ機器への積極的な更新によりCO_2排出量が削減。

※2013-2019年の年度は4月～翌年3月までとする。
2020年上期は2020年1月～6月までの途中経過を示す。
なおScope3については省エネ法に基づく特定荷主トンキロデータを採用。



◆VOC（トルエン）削減目標：
2029年：2001年比30%削減を維持
2021年：2001年比30%削減

→2019年度は28.9%削減、僅かに目標未達。
材料の改良によって脱トルエン化を推進。

※2001-2019年の年度は4月～翌年3月までとする。

参考資料

OKURA

合成樹脂事業

パッケージングBU

シュリンクフィルム

中間物流用の重量物包装や集積包装、食品を直接包装するものなど、オリジナルのデザインや形状を生かしたまま、商品をより美しく安全に包み込む。用途に応じた独自の機能を付与すると共に、印刷などの二次加工や包装システムなどを提案。

【用途例】
乳酸菌飲料集積用、カップ麺、酒パック等の包装フィルム、食品トレイ包装用バリアフィルム

軟包材

ナイロン・ポリエステル・ポリエチレンなどのさまざまなフィルムを貼り合わせることにより、それぞれの特性を活かした機能的な複合フィルムのこと。冷凍食品の包装やIC基盤の保護用フィルム、詰め替え用のスパウト付きラミネート袋など、身近なところから最先端の電子材料にまで幅広く提供。

【用途例】
食品、洗剤、柔軟剤、シャンプー、ペットフード、お菓子等

リキッドパック

液体包装容器の総称であり、段ボール箱内で使用されるバッグインボックスとドラム缶内で使用されるバッグインドラムに大別される。醤油などの食料品や化学薬品などの液体輸送の合理化に寄与。

【用途例】
ミネラルウォーター、油脂加工製品、調味液（醤油、ソース等）、液体肥料、液体洗剤、接着剤

合成樹脂事業

産業機能材BU

電子・エネルギー・住宅・メディカルなど様々な分野の主材や基材を提供。液晶パネルに使用される位相差フィルムの保護用フィルムなど、独自の樹脂ブレンドノウハウ・高い製膜技術・徹底した品質管理で最適なソリューションを提供。

【用途例】
光学、電子、電気製品、自動車、ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ壁面、ﾄﾞｱ・ｸﾛｰｾﾞｯﾄ・床などの建装材など

一般包材BU

規格袋・ごみ袋・包装/梱包荷材など、各種既製品はもとより、食品・衛生材料・家庭紙・日用雑貨・産業資材・医薬・洗剤・化粧品・印刷出版物など幅広い分野で製品の包装に使われているポリエチレンフィルムを提供。

【用途例】
規格袋、日用品、食品用ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾌｨﾙﾑ、衛生材料用ﾌｨﾙﾑ

アグリマテリアルBU

農業用の機能性フィルムであり、全国の農家から親しまれている製品。農作業の省力化と作物の収穫増のために、保温・地温上昇抑制・害虫忌避・抗菌・生分解といったさまざまな機能を持つ製品をラインアップ。

【用途例】
農業用フィルム、肥料の保存

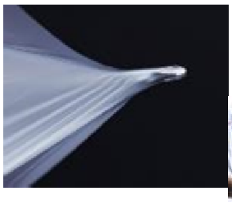
新規材料事業

第1BU（機能材料）

TPUチーム（ウレタンフィルム）

機械的・化学的・電気的等著しい機能を持つウレタンやフッ素系等の単層、多層フィルムをメディカル分野や自動車部品メーカー等に提供。

【用途例】
創傷用被覆保護ドレッシング
プリント接着用シート
印刷転写用シート
ヘッドレスト
ペイントプロテクションフィルム



BLTチーム（シームレスベルト・樹脂被覆ローラ）

プリンター等の画像情報機器に必要な電子機能を持つベルトやチューブをプリンター・複写機メーカーに提供。

【製品種類】
LBP用中間転写ベルト
クリーニングローラ
転写ローラ

ADHチーム（アクリル接着剤）

3タイプの硬化機構の無溶剤型アクリル接着剤を車輌・電気・鋼板・鋳型模型からゴルフクラブまで幅広い市場に提供。

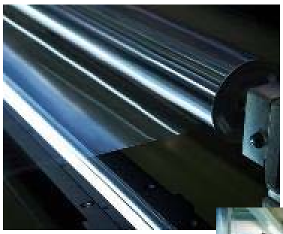
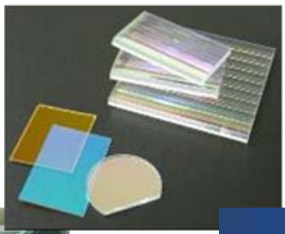
【用途例】
モーターマグネット(電気自動車部品)
塗装鋼板
ゴルフクラブ
鋳型模型

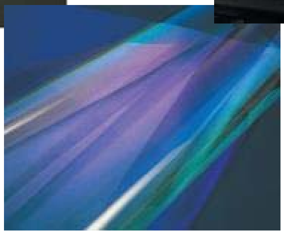
新規材料事業

第2BU(光学材料-加工)、第3BU(電子材料-製膜延伸)

MNTチーム、 KEチーム、 PLMチーム、CTチーム、MCSTRチーム

大型から中小型サイズの液晶ディスプレイを始め、タッチパネルや液晶プロジェクター等、電子表示体のキーマテリアルとなる各種光学機能性フィルムをFPDメーカー等に提供。



04-1 《参考資料》事業紹介
OKURA

建材事業

パーティクルボード(素板)

木質廃材を細かくしたチップに接着剤などを混ぜた原料を高温でプレスし固めたパーティクルボード。
木質廃材を焼却せず製品としてリサイクルしており、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に寄与。

【用途例】
キッチン、家具
フロア
構造用耐力面材

住環境

当社のパーティクルボードなどにシートを貼った製品で、住設機器等の部材提供及び棚板、フロア等として住宅メーカー等に提供。

【用途例】
フロア、棚板等のパーティクルボード二次加工品

04-1 《参考資料》事業紹介

その他関連事業

ホテル事業：オークラホテル株式会社

香川県丸亀市に本社があり、オークラホテル丸亀と岡山ビジネスホテルアネックスの２つのホテルを営業。オークラホテル丸亀は瀬戸内海を一望する最高のロケーションでビジネスや観光の拠点に便利な立地。岡山ビジネスホテルアネックスはビジネス向け宿泊の集客に焦点を置いた、機能的かつ利便性を重視した宿泊機能集中型ホテル。

情報処理事業：オークラ情報システム株式会社

香川県丸亀市に本社があり、ソフトウェア開発やコンピュータシステムの運用、保守パッケージソフトの製造・販売、コンピュータ機器販売を手掛けている。ニーズを拾い上げ、形にするまでトータルでサポート。

住宅事業：株式会社オークラハウス

香川県丸亀市に本社があり、県内の新築、リフォームを手掛る。エネルギー収支ゼロを目指したゼロ・エネルギー住宅や国土交通省が定めた耐震性能最高等級「耐震等級3」相当で建てるなど、快適に安心して永く住んでもらう住宅を提供。

プレカット事業：株式会社オークラプレカットシステム

香川県丸亀市に本社があり、木造建屋宅用構造材加工（プレカット加工）および木造建屋用資材（建築金物・基礎素材等）の仕入販売を行っている。よりよい家を作るために、数々の建築データを基に、安全に現場での作業を迅速に行えるプレカットされた木材を、日々つくり続けている。

業績予想・事業計画に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。

2020年12月期
第2四半期決算説明資料

大倉工業株式会社

2020年8月26日

END